



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月27日

上場会社名 株式会社 エスティック

上場取引所 東

コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

定時株主総会開催予定日 2020年6月18日

配当支払開始予定日 2020年6月19日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年3月21日～2020年3月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,773	2.4	1,772	2.2	1,754	0.6	1,193	5.1
2019年3月期	6,612	32.8	1,734	38.4	1,743	38.2	1,135	32.3

(注) 包括利益 2020年3月期 1,207百万円 (8.9%) 2019年3月期 1,108百万円 (24.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	460.78		19.5	23.8	26.2
2019年3月期	417.70		19.6	25.0	26.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 4百万円 2019年3月期 7百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	7,145	6,025	83.7	2,411.45
2019年3月期	7,580	6,294	82.7	2,304.89

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,977百万円 2019年3月期 6,267百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,156	583	1,499	504
2019年3月期	679	239	177	1,429

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		86.00	86.00	233	20.6	4.0
2020年3月期		0.00		97.00	97.00	240	21.1	4.1
2021年3月期(予想)								

2021年3月期(予想)の配当予想は、未定です。

現時点では業績予想が困難であることから、今後、通期業績予想額の公表が可能となった時点で、合わせて配当予想を額を開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月21日～2021年3月20日)

2021年3月期の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルスのグローバルな感染拡大が顧客の設備投資の動向に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	2,942,000 株	2019年3月期	2,942,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	463,019 株	2019年3月期	222,970 株
期中平均株式数	2020年3月期	2,589,782 株	2019年3月期	2,719,040 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年3月21日～2020年3月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,473	2.4	1,733	3.4	1,717	1.7	1,181	6.5
2019年3月期	6,321	37.6	1,676	62.8	1,688	64.1	1,108	55.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	456.09	
2019年3月期	407.84	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
2020年3月期	6,704		5,632	84.0	2,271.97			
2019年3月期	7,161		5,926	82.8	2,179.57			

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,632百万円 2019年3月期 5,926百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルスのグローバルな感染拡大が顧客の設備投資の動向に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(決算説明会について)

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大している状況を考慮し、決算説明会の開催を中止といたします。当日使用を予定しておりました決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当金	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦、欧州のブレグジット問題、日韓問題など、当社販売先のうち多くの主要な地域において経済、政治が複雑に絡みつつ混沌とした国際情勢が継続してまいりました。期末にかけては新型コロナウイルスの影響も世界的な広がりを見せる中、先行き不透明な状況がより一層複雑なものとなりました。

このような経済環境のなか、当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況や当社製品の品種別の販売状況につきましては市場別に次のとおりとなっております。

① 国内市場

日本経済は、景気は緩やかな回復傾向で推移しつつも製造業の一部に足踏み感が出始め、輸出も混沌とした世界経済の影響を受け低迷が継続し、期末にかけては新型コロナウイルスの影響で製造業の一部に生産調整も出始めるなど、企業収益環境が一段と厳しさを増してまいりました。反面、人員不足を背景とした合理化・省力化投資など一部においては設備投資の増加基調を示しつつあります。

そのような状況のなか当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、コネクテッドカー、自動運転、シェアリング、電動化等今後の市場環境の変化を見据えて各社がスクラップ&ビルドを視野に設備投資の見直し再編を模索し、また米中貿易摩擦やブレグジットなどの国際情勢を遠因とした国内設備投資計画の延期や見直しが一段と顕著化してまいりました。

品種別販売状況ではハンドナットランナ及びナットランナが当初予想を上回り堅調に推移し、ネジ締付装置は前年比では増加しているものの当初予想を下回る結果となりました。

② 米国市場

米国経済は、雇用・所得環境、個人消費は良好な状況で推移してきましたが、製造業では外需の減速により輸出が低下しており強弱入り乱れる状況下、FRBの緩和的金融政策が下支えに寄与しつつも全体的には景気減速感が強まりつつあります。

そのような状況のなか、一部の日系、米系自動車メーカーの積極的な設備投資によりハンドナットランナが前年比大幅な増収となりました。なお、昨年新たに開設したミシガン州の販売拠点の効果につきましては現在人員増強を図りつつ、米系自動車メーカーを中心に営業展開を強化過程であり本年度においては売上への寄与率は僅少であります。

③ 中国市場

中国経済は、米中貿易摩擦の影響で外需の低迷が継続してきた中、米国との一部緩和合意の効果から輸出は持ち直しつつあり、雇用・所得環境も安定的に推移してまいりました。

自動車産業においては、新車販売は低迷が持続しており、自動車メーカーの設備投資も軟調に推移してまいりました。

そのような状況のなか、ハンドナットランナ、ナットランナともに前年を下回る販売状況となりました。

④ その他の市場

タイ市場ではハンドナットランナが堅調に推移し、インドネシア市場ではネジ締付装置及びナットランナが堅調に推移してまいりました。韓国市場は日韓関係の悪化などもあり当初予想を大きく下回り低調な販売状況となりました。

利益面においては、ハンドナットランナ及びナットランナが軽微ながら前期比粗利率が改善し、ネジ締付装置は大幅な前期比粗利率改善を図ることができ、売上総利益率が前期比増加いたしました。他方、一昨年からの大幅な売上高拡大に対応すべく人員増強を図った結果、人件費が前期比増加したことなどから営業利益率はほぼ前年並みとなりました。

その結果、当連結会計年度は、売上高6,773百万円(前期比2.4%増)、営業利益1,722百万円(前期比2.2%増)、経常利益1,754百万円(前期比0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,193百万円(前期比5.1%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、7,145百万円と前連結会計年度末比434百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、有形固定資産435百万円が増加した一方、現金及び預金936百万円、仕掛品416百万円が減少したためであります。

当連結会計年度末の負債は、1,120百万円と前連結会計年度末比164百万円の減少となりました。減少の主な内訳は、買掛金49百万円、未払金31百万円、未払法人税等106百万円であります。

当連結会計年度末の純資産は、6,025百万円と前連結会計年度末比269百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、利益剰余金959百万円が増加した一方、自己株式の取得により1,243百万円が減少したためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は504百万円となり、前連結会計年度末に比べて925百万円の減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは1,156百万円の収入(前連結会計年度は679百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益1,754百万円、たな卸資産の減少額191百万円の増加要因があった一方、売上債権の増加額249百万円、法人税等の支払額648百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは583百万円の支出(前連結会計年度は239百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入71百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出60百万円、有形固定資産の取得による支出562百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは1,499百万円の支出(前連結会計年度は177百万円の支出)となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出1,263百万円などの減少要因があったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	85.6	85.2	83.7	82.7	83.7
時価ベースの自己資本比率(%)	68.1	178.8	189.35	260.78	105.63
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率(%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・ レシオ(倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額(自己株式を除く)／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しています。

2 キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

3 「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」、「インタレスト・カバレッジ・レシオ」について、有利子負債及び利払いが無い場合、「—」で表記しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスのグローバルな感染拡大が顧客の設備投資の動向に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、将来の事業展開と経営体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株当たり94円00銭を予定しておりましたが、業績に鑑み株主の皆様の日頃のご支援にお応えすべく、1株当たり3円00銭増配の97円00銭にすることに決定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年4月27日)公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

また、次期につきましては、現時点では業績予想が困難であることから未定とします。今後、通期業績予想額の公表が可能となった時点で、合わせて配当予想額を開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当連結会計年度 (2020年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,481,500	544,878
受取手形及び売掛金	1,458,779	1,775,158
電子記録債権	404,472	338,009
商品及び製品	375,220	443,131
仕掛品	749,066	332,438
原材料	949,512	1,107,068
未収消費税等	21,437	249
その他	81,780	88,811
貸倒引当金	△2,120	△2,148
流動資産合計	5,519,649	4,627,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	578,565	1,143,154
減価償却累計額	△249,344	△289,273
建物及び構築物(純額)	329,221	853,881
機械装置及び運搬具	26,738	26,603
減価償却累計額	△13,691	△16,323
機械装置及び運搬具(純額)	13,046	10,280
工具、器具及び備品	429,177	572,425
減価償却累計額	△328,215	△399,194
工具、器具及び備品(純額)	100,961	173,231
土地	830,106	830,106
リース資産	9,270	9,270
減価償却累計額	△1,133	△2,987
リース資産(純額)	8,137	6,283
建設仮勘定	156,904	—
有形固定資産合計	1,438,377	1,873,781
無形固定資産		
ソフトウェア	23,135	38,521
水道施設利用権	—	3,380
その他	880	880
無形固定資産合計	24,015	42,781
投資その他の資産		
投資有価証券	88,207	95,476
関係会社出資金	215,204	213,346
繰延税金資産	191,013	189,705
保険積立金	88,467	88,467
その他	16,092	15,475
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	598,186	601,672
固定資産合計	2,060,579	2,518,236
資産合計	7,580,228	7,145,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当連結会計年度 (2020年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,569	191,026
未払金	182,271	150,807
未払費用	117,276	120,309
リース債務	1,854	1,854
未払法人税等	375,515	269,173
未払消費税等	—	38,312
賞与引当金	53,879	61,712
製品保証引当金	73,321	55,000
その他	13,464	8,639
流動負債合計	1,058,151	896,835
固定負債		
繰延税金負債	8,551	6,233
リース債務	6,386	4,532
退職給付に係る負債	210,891	210,636
その他	1,293	2,380
固定負債合計	227,122	223,781
負債合計	1,285,273	1,120,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	5,266,965	6,226,446
自己株式	△218,361	△1,461,410
株主資本合計	6,245,354	5,961,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,678	21,236
為替換算調整勘定	2,029	△5,081
その他の包括利益累計額合計	21,707	16,154
非支配株主持分	27,892	47,275
純資産合計	6,294,954	6,025,215
負債純資産合計	7,580,228	7,145,833

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
売上高	6,612,716	6,773,705
売上原価	3,712,415	3,668,059
売上総利益	2,900,301	3,105,646
販売費及び一般管理費	1,165,481	1,333,469
営業利益	1,734,820	1,772,176
営業外収益		
受取利息	182	212
受取配当金	2,341	2,713
持分法による投資利益	7,982	4,574
保険解約返戻金	1,628	—
受取保険金	—	1,500
その他	3,257	1,347
営業外収益合計	15,392	10,348
営業外費用		
支払利息	—	701
為替差損	6,359	7,155
自己株式取得費用	—	19,327
固定資産売却損	243	—
その他	44	1,204
営業外費用合計	6,647	28,389
経常利益	1,743,565	1,754,134
特別損失		
固定資産除却損	75,422	—
特別損失合計	75,422	—
税金等調整前当期純利益	1,668,142	1,754,134
法人税、住民税及び事業税	541,202	545,697
法人税等調整額	△19,729	△1,737
法人税等合計	521,473	543,960
当期純利益	1,146,669	1,210,174
非支配株主に帰属する当期純利益	10,933	16,857
親会社株主に帰属する当期純利益	1,135,735	1,193,317

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
当期純利益	1,146,669	1,210,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,583	1,557
為替換算調整勘定	△5,321	1,846
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,781	△6,432
その他の包括利益合計	△37,686	△3,027
包括利益	1,108,983	1,207,147
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,098,373	1,187,764
非支配株主に係る包括利益	10,609	19,382

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	557,000	639,750	4,307,968	△218,235	5,286,482
当期変動額					
剰余金の配当			△176,738		△176,738
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,135,735		1,135,735
自己株式の取得				△125	△125
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	958,997	△125	958,871
当期末残高	557,000	639,750	5,266,965	△218,361	6,245,354

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	36,261	22,807	59,069	17,283	5,362,835
当期変動額					
剰余金の配当					△176,738
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,135,735
自己株式の取得					△125
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△16,583	△20,778	△37,362	10,609	△26,752
当期変動額合計	△16,583	△20,778	△37,362	10,609	932,118
当期末残高	19,678	2,029	21,707	27,892	6,294,954

当連結会計年度(自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	557,000	639,750	5,266,965	△218,361	6,245,354
当期変動額					
剰余金の配当			△233,836		△233,836
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,193,317		1,193,317
自己株式の取得				△1,243,049	△1,243,049
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	959,481	△1,243,049	△283,568
当期末残高	557,000	639,750	6,226,446	△1,461,410	5,961,785

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	19,678	2,029	21,707	27,892	6,294,954
当期変動額					
剰余金の配当					△233,836
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,193,317
自己株式の取得					△1,243,049
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,557	△7,110	△5,552	19,382	13,829
当期変動額合計	1,557	△7,110	△5,552	19,382	△269,738
当期末残高	21,236	△5,081	16,154	47,275	6,025,215

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,668,142	1,754,134
減価償却費	86,449	127,964
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△319	28
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,196	7,833
製品保証引当金の増減額(△は減少)	11,919	△18,321
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26,440	△255
受取利息及び受取配当金	△2,523	△2,926
支払利息	—	701
為替差損益(△は益)	△3,279	139
持分法による投資損益(△は益)	△7,982	△4,574
受取保険金	—	△1,500
保険解約返戻金	△1,628	—
固定資産売却損益(△は益)	243	—
固定資産除却損	75,422	—
売上債権の増減額(△は増加)	△86,558	△249,626
たな卸資産の増減額(△は増加)	△731,131	191,194
仕入債務の増減額(△は減少)	△45,024	△49,542
未収消費税等の増減額(△は増加)	1,296	21,187
その他	73,577	24,706
小計	1,073,237	1,801,142
利息及び配当金の受取額	2,523	2,926
保険金の受取額	—	1,500
利息の支払額	—	△701
法人税等の支払額	△396,505	△648,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	679,256	1,156,067
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△71,000	△60,000
定期預金の払戻による収入	71,000	71,000
有形固定資産の取得による支出	△243,911	△562,531
有形固定資産の売却による収入	773	—
有形固定資産の除却による支出	△11,000	—
無形固定資産の取得による支出	△6,981	△26,733
投資有価証券の取得による支出	△4,818	△4,930
保険積立金の解約による収入	29,924	—
その他	△3,850	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239,864	△583,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	600,000
短期借入金の返済による支出	—	△600,000
リース債務の返済による支出	△1,030	△1,854
自己株式の取得による支出	△125	△1,263,923
配当金の支払額	△176,728	△233,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177,884	△1,499,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	985	1,002
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	262,493	△925,677
現金及び現金同等物の期首残高	1,167,274	1,429,767
現金及び現金同等物の期末残高	1,429,767	504,090

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」115,020千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」191,013千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具の製造・販売及び当社製品の修理・点検を主な事業とする単一セグメントで事業活動を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
1株当たり純資産額	2,304円89銭	2,411円45銭
1株当たり当期純利益金額	417円70銭	460円78銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,135,735	1,193,317
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,135,735	1,193,317
普通株式の期中平均株式数(株)	2,719,040	2,589,782

(重要な後発事象)

該当事項はありません。